
食肉科研/行政情報等発信サービス

No.61 2017/4/11

1 平成28年度食品表示に関する消費者意向調査報告書公表

4月11日、消費者庁食品表示企画課は標記報告書を公表した。その主な内容は次のとおり。

(1) 調査の目的

消費者の食品表示制度に対する理解度等を調査し、その結果を分析することで、食品表示法等の関係法令やガイドライン等の定着状況を把握するとともに、消費者の食品表示に対するニーズを把握し、食品表示制度の見直しに役立てることを目的とする。

(2) 調査対象者（有効回答数と標本数）

回収数	有効回答数	有効回答率	標本数
16,949	12,691	74.9%	10,648

(3) 調査内容の概要

食品表示制度等の理解・活用状況

- ・栄養表示、アレルギー表示、原材料・添加物表示、製造所固有記号等の理解・活用状況（製造所固有記号届出データベースの活用状況を含む。）
- ・特別用途食品の表示方法の理解・活用状況
- ・外食・中食のアレルギー情報提供の認知・活用状況

http://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/information/research/2016/pdf/information_research_170411_0001.pdf

http://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/information/research/2016/pdf/information_research_170411_0002.pdf

http://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/information/research/2016/pdf/information_research_170411_0003.pdf